

東部の窓

～校長室だより～



豊川市立東部小学校
令和8年2月16日
← 跳び箱月間中の学習(2年より)

「一段一段」～職員向けの「校長室だより」より～

ミラノ・コルティナ冬季五輪真最中です。日本選手の活躍で連日湧いています。(中略) これからの日本選手の益々の活躍が期待されますね。

ところで、私はオリンピックでの選手の忘れられないセリフがいくつかあります。冬季五輪種目のモーグル日本代表だった、上村愛子選手の「なんで一段一段なんだろう」という言葉もその一つ。上村選手は、1998年18歳で長野五輪に出場し7位入賞。その後五輪出場を果たし続けます。



【↑上村愛子選手】

●1回目1998年(長野)7位 ●2回目2002年(ソルトレイクシティ)6位 ●3回目2006年(トリノ)5位 ●4回目2010年(バンクーバー)4位

毎回メダルを期待されながらも願いは叶いませんでした。「なんで一段一段なんだろう」という言葉は、2010年バンクーバー五輪4位に終わった時に、涙ながらに言った言葉でした。通常では考えられないような努力を十数年以上してきた結果が4位。上村選手の心中を察します。長い間一生懸命にがんばってきても思うような結果が出ない…。そんな時は誰でも落ち込むこともあります。

上村選手は、この後引退を考えますが、再び猛練習を始め、見事2014年ソチ五輪に出場。「一段一段」ということであれば、今回はメダル獲得の「3位」のはずでした。ところが結果は4位。5回目の五輪は、一段も上がることができませんでした。しかし、4位と決まった直後、上村選手は次のように笑顔で話します。「結果はメダルを取れなかったというだけで、すべて全力で滑ることができました。**達成感マックス**。すごく清々しい気持ちです。」上村選手は、メダルは取れなかったものの、それ以上に大事な事を得たのではないのでしょうか。(中略) 上村選手は、自分自身を冷静に、かつ俯瞰的に見つめ、「自分に何が必要か」「何が足りないのか」、そして「これからどんなことをしていくとよいのか」など、自分を高めるための目標をもちながらチャレンジしたことが、自らを一步一步を前進させたのだと感じさせられます。上村選手は、**今までの自分を「振り返り」、自分は今まで「何を学んだか」**を理解していたのだと思います。

これは、教育の世界でもとても大切な部分であると思っています。(中略) 毎日の授業の中では、しっかりと目的意識をもたせ、自分事としてじっくり考え、そして自分の取り組みを客観的に振り返ることで、「何を学んだか」「どう学んだか」を自覚させましょう。その過程の繰り返し、次のステージに向かっていく原動力になり、「一段一段」ステップアップしていくことに繋がると思うのです。

上村選手の言葉は、「結果」ではなく、「過程」の大切さ、尊さを物語っています。私たち教育現場でも同様です。子どもの成長は一気に現れるものではなく、日々の小さな変化と積み重ねによって形づくられていきます。「一つの声かけ」「一つの関わり」「一つの実践」「一つの振り返り」、その一つ一つが確かな「一段」になり、やがて大きな成長へと繋がっていきます。私たち教員にとって大切なのは、成果を急ぐことではなく、積み重ねることを信じる姿勢です。「派手さではなく、確かさを」「スピードではなく持続を」意識し、「一段一段」を大切にしながら、子どもたちと同様、私たち自身も成長していきましょう。

*

こんな話を職員にしました。2月も中旬に入り1年間のまとめの時期に差し掛かります。振り返りを具体的に行い、子どもたちには、「一段」上がった自分の姿を自覚してもらいましょう。そして、「達成感マックス」と言えるようにしていきましょう。それが次年度へのステップとなると思うからです。

福祉実践教室(5年生)

社会福祉協議会及びボランティア団体の協力を得て、1月30日に5年生が福祉実践教室を行いました。「車いす」「点字」「手話」「高齢者疑似体験」の4講座に分かれ、講話を聞いたり、体験をしたりしました。障害のある人への理解を深めるきっかけになってくれることを願っています。この日は、「大人ちょボラ」の方々もご協力いただきました。ありがとうございました。



ダスキンさん・出前授業(1年生)

1年生の生活科の学習では、家族や身の周りの人を喜ばせるために自分たちにできることについて考えました。その中で、日常生活に欠かせない「掃除」について学ぶ機会を設け、ダスキンさんをゲストに迎え、掃除の大切さや正しい掃除の仕方について教えていただきました。掃除をする目的も改めて確認することができ、とても有意義な体験活動になりました。



心の健康を ~保健室より~

市内外でインフルエンザが流行している中、校内では十分感染症対策を講じるとともに、健康管理に留意しながら学習や各種活動を行っているところです。一方本校では、心の健康の推進にも力を入れています。現在、保健室前の掲示板には、養護教諭が工夫を凝らし、さまざまなメッセージやお知らせが掲示されています。「健康豆まき」の掲示物には、心の中に潜む6人のオニ（ねぼうオニ・なまけオニ・いじわるオニ・かぜひきオニなど）「あなたがやっつけたいオニ」のところに、子どもたちがシールを貼るといったものです。今のところ、「なまけオニ」や「かぜひきオニ」に多くシールが貼られています。また、「気持ちのおくり物」のコーナーでは、互いに相手の気持ちを考え、言われてうれくなる言葉を伝え合うとよいと勧めています。

東部小学校の子どもどうし、心温まる人間関係を築き、前向きな気持ちで生活していくことを期待します。



お知らせ

1月29日に予定していた老人会の方々と1年生による「昔遊び名人と節分」の会ですが、校内でも感染症が拡大したことにより延期としていました。しかし、感染症が治まる傾向がみられず、苦渋の判断でしたが、今年度は中止とさせていただきます。この会を楽しみにされていた老人会の皆さま、心待ちにしていた子どもたちには残念なことでしたが、ご理解をいただきますようお願いいたします。（来年はぜひ！）。



東部っ子・フォトギャラリー

笑顔があふれる東部っ子の活動を紹介！(OSA.T)

